第 2660 地区

Rotary Club of Osaka-Semba　UNITE FOR GOOD

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

設　立　昭和 63 年 (1988) 5 月 23 日
事務所　〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-5-12 心斎橋アーバンライフ907
TEL. (06) 6244 -1008　FAX. (06) 6244 -1010
WEB. http://sembarotary.club　E-mail : semba@cocoa.ocn.ne.jp
例　会　毎週月曜日・12 時 30 分・ホテル日航大阪　Tel. (06) 6244 -1111

会長　藤井 宏明　幹事　篠藤 敦子　会報広報委員長　中井 崇

四つのテスト／言行はこれに照してから　Ⅰ. 真実かどうか　Ⅱ. みんなに公平か　Ⅲ. 好意と友情を深めるか　Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1598回　例会　2025年（令和7年）12月22日

（疾病予防と治療月間）

本日のプログラム　（本日のプログレス　竹内　弘　副SAA）

- **ロータリーソング**「おおロータリー」
- **会長の時間**　**幹事報告**　**委員会報告**　**ニコニコ箱報告**　**出席報告**
- **職業奉仕卓話**　「市民法律相談の話」　平山　明彦　会員
- 〃　「スーツケースのはなし」新川　晃生　会員

前回（１２月１５日）例会記録

・クリスマスソングメドレー

1. 来客紹介　松村　和也　親睦委委員

ゲスト：0名　地区外：0名　地区内：2名　合計　2名

2. 会長の時間　藤井　宏明　会長

皆さま、こんにちは。

本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

まずは、先週の年次総会、そして引き続き開催いたしましたクリスマス家族懇親会にご参加くださった皆さま、誠にありがとうございました。

総会では、次年度体制の承認をはじめ、クラブの今後に関わる大切な議案が滞りなく進みました。

皆さまのご協力に心より感謝いたします。

そして懇親会では、会場いっぱいに温かい空気が広がり、まさに“船場らしい”時間となりました。

特に、林会員がご手配くださったプレミアメニューのお寿司と松阪牛は大変ご好評で、皆さまから驚きと喜びの声があがっていました。人数分しっかりご用意いただいているのに、全員真っ先にカウンターに並ぶという状態には思わず笑ってしまいました。

やはり皆様、美味しい物には眼が無いんだなと･･･

また、クリスマス懇親会では、チャーターメンバーの方々にご参加いただき、子どもたちとのハンドベル演奏は、場を優しく包み込

み、本当に心和むひとときでした。
さらに、ウクレレ同好会の皆さまと、中村会員のピアノ伴奏、大島弥生会員のフルートの演奏も、会場を大いに盛り上げてくださいました。
クラブを楽しもうという気持ちが音に乗って伝わり、笑顔が自然と広がる素敵なステージでした。
改めて感謝申し上げます。
そして何より、ご家族の皆さまとの交流は、ロータリーの大きな魅力の一つです。
ご家族が支えてくださってこそ、私たち会員はクラブ活動を続けていくことができます。そのことを実感する温かい会となりました。
さて、来週はいよいよ 2025 年最後の例会となります。
何かと慌ただしい時期ではございますが、ぜひ皆さまお誘い合わせのうえご出席いただき、一年を気持ちよく締めくくれる時間にできればと思っております。
本日もどうぞよろしくお願いいたします。

3. <u>ニコニコ報告</u>　廣　勇貴　親睦委員

岡野　会員‥‥10月横浜、11月神戸、12月昨日奈良と、3ケ月連続でフルマラソンをサブ 4.5 で完走できました。
林(英)　会員‥‥クリスマス会を家族で楽しませていただきました。ありがとうございます。あれ以来、息子が漫才師になりたいと言い出して困惑しています。
常谷　会員‥‥年賀は廃止しました。
原山、中嶋、野田、伊藤、俣野、髙木、瀬島、中西、大島、北野、岡本(真)、盆子原、中村、岡本茂、藤井、天野、廣、小島、井澤、大久保、三重、小山、前川、篠藤、山川、清水、松村、井上、五味、新川、
各会員‥‥本日年賀郵便受付の日です。皆様どうされますか。

4. <u>ご挨拶</u>　大阪西 RAC　内部　裕太　様

大阪西 RAC の内部さんが MU にお越しになり、一言ご挨拶をしていただきました。

5. <u>出席報告</u>　山川　良知　副SAA

会員総数　47名　出席率計算会員数　45名　出席会員数　42名(内、オンライン4名)　出席率　93%
第1595回(11月17日)　修正出席率　100%

6. <u>職業奉仕卓話</u>

◎　髙木　隆介　会員

こんにちは、タカギエンジニアリングの髙木です。
それでは卓話を始めたいと思います。
私は兵庫県で、主に鉄工所などで使われている切削工具の再研磨と製作をしている会社を経営しております。それでは、会社の成り立ちからお話しさせていただきたいと思います。
今から 26 年前に関連会社である髙木商会の 1 階にて、再研磨業をスタートしました髙木商会は、父が創業した会社で主に切削工具の販売をしておりまして、ご購入いただいたお客様へのアフターサービスとして、売りっぱなしではなく、使用できなくなった切削刃具を再び使えるように再研磨をして、ご購入いただいた切削工具をより長く使用できるようにとの思いで、設立したのがタカギエンジニアリングです。

この仕事を始めた頃は、私は素人からのスタートでしたので周りに教えてくれる方もおらず、これはどうやるんやろうと思いながら、手探りでやっていく毎日でした。そうしていくうちに、ご縁があって川崎重工業の元職場長の方に来ていただいて、教えていただくようになりその頃はマニュアルも何もありませんでしたので、トライ＆エラーを繰り返しながら少しずつ覚えていきました。
今思えば、本当にたくさんの方に助けていただきながら、ここまで続けてこられた仕事だと感じております。そうしながら、少しずつですが機械も増やしていき、現在は場所も移りまして量産工具の製作の対応も行えるようになりました。
動画で紹介しますとこんな感じです。
　次は当社が製作や再研磨をしている切削工具について、ご紹介できればと思います。
こちらの写真がエンドミルという名前でドリルは穴をあける専門ですが、こちらの切削工具は製品の側面や溝を削るのに使用されております。こちらは、丸棒から製作した切削工具になります。標準品にない形状の規格なので、こちらを短納期で製作させていただくことでユーザー様に好評を得ております。
　こうした工具はオーダーメイドになってきますので熟練の職人技術が不可欠になってきます。
私が、最近特に感じるのは職人技の価値が見直されてきているとのことです。
NC による自動機は非常に便利でもちろん必要なんですが、刃物の形状によっては汎用機を使用したり、場合によっては手作業が必要になってきます。特に当社が手掛けるオーダーメイド工具は、人の感覚と経験が必要になります。
若い世代に技能を継承することが難しいと言われる時代ですが、当社は育成に力を入れておりまして、工具はただ削るのではなく、お客様の工程を守る命綱のような存在ですので、それを支える技術者を育てることも、私たちの大切な役目だと思っております。
あと、こちらのレーザードーピングという技術は、当社の技術顧問である青木と、名古屋工業大学が共同で開発された技術です。
僕は青木顧問とは師弟関係のような関係でして、切削工具の本質的な考え方から、材料の見方まで、多くのことを教えていただいております。
また、技術面だけではなく、プライベートでも以前にお話しをさせていただきましたが僕の方、渓流釣りをしておりまして、この渓流釣りも青木顧問に教えていただいたものです。
最初は釣りの知識も何も無かったのですが顧問は魚の付き場の読み方から、毛ばりの選び方、立ち位置、流れの見方まで教えていただき顧問には、自然の中での過ごし方や心の整え方まで学ばせていただいております。
僕が渓流釣りをしていて感じたのは、「自然の中で何を読み取るかで結果が全く変わる」ということです。
これは実は、私の仕事である工具づくりと同じで、工具の切れ味や摩耗の仕方を“見て読み取る力”がその後の仕上がりに大きく影響します。水の流れを読むのと同じように、加工の流れ、材料のクセ、負荷の変化を読み取ることで、工具の最適な形や条件が分かってきます。私にとって渓流釣りは、ただの趣味ではなく、技術者としての感覚を磨く時間にもなっている と感じております。
そして、仕事でも趣味でも、青木顧問から学ばせていただいたことが私のものづくりに大きな影響を与えていると実感しております。
そういったご縁でこのレーザードーピング技術を使わせていただきこの技術を工具に適用すると寿命が場合によっては 2～3 倍に伸びることがあります。こうした技術を積極的に用いてすれば SDGs（資源環境）につながると思います。
切削工具は主に超硬と言われるタングステンという金属で作られているのですが、これはレアメタルで世界的にも貴重な資源です。
新品を買い続けるよりも、少しでも寿命が伸びて再研磨をして、使い続けることで、年間 60～80％の資源削減が可能になります。
また、破棄される工具の量も減るため、環境への負荷も大きく軽減できます。当社は　削る技術で資源を守る　そんな気持ちで日々取り組んでいます。
あと、今後の事業展開ですが、現在は建設機械関係や自動車分野の関係を中心に仕事をしておりますが、今後は医療関係や半導体や航空機関係など様々な分野の仕事をさせていただき当社の技術を活かしつつ資源環境に貢献できるような仕事を広げていきたいと思っております。
最後までお聞きいただきありがとうございました。
ものづくりを支える立場として、これからも社会貢献できる会社をめざしてまいりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
以上をもちまして卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◎　井上　大陽　会員

私は8年程前に独立をして、ジオフロー株式会社という不動産業をメインとした会社をしております。
主な事業内容は収益不動産の仲介、管理、リフォームをしております。
不動産の購入仲介、管理、リフォーム、売却と一連の流れを事業にさせて頂いております。
独立時も今も変わらず、自分でやっていきたいと考えた想いとして、不動産を持っている方、これから持つ方の指標になりたいと思い事業をさせて頂いております。
不動産業界は結構、縦割りで分業されており、賃貸は賃貸を得意とする会社がおり、売買は売買を得意とする会社がおり、管理は管理を得意とする会社がおり、また管理の中でも賃貸不動産の管理や分譲マンションの管理と分かれていたりします。その他の不動産事業にも不動産業者が不動産を購入して売却をするという買取・再販業者がいたりもします。
クライアントさんからのお困りごとがあった際に、賃貸をメインにしている業者に相談にいけば、賃貸を提案され、売買をメインにしている業者に相談にいけば売買を提案され、買取・再販をメインにしている業者に相談にいけば買取を提案されます。事業をしている限り自社の利益になることを提案するのが当たり前ですし、私もサラリーマンをしている時は自社や自分の利益になることを提案しておりました。ただ、クライアントさんがどうするかを自分で決めて決断できるのであれば問題はないのですが、縦割りの業界の中で、クライアントがどこに相談に行けばいいのかわからない状況があるのかと思い、第三者的に相談を受けれるようになりたいという思いと、少しでも私の力が判断の手助けになるようにという想いで事業をしております。
また不動産の有効活用として、シェアハウス、シェアサロンの運営や宿泊施設等もしております。
アートと触れる方が減ってきたこともあり、アートと共に暮らせるというコンセプトで不動産とアートというかけ合わせの物件を作ったりもしております。
縦割りの中での業界だからこそトータルで知識を深めると別の角度からの提案も出来るだろうという想いで不動産の営業マンや不動産投資家に向けた不動産スクールもしております。
不動産業界は一匹狼の営業マンが多く、会社内に教育が少なく未だに先輩の背中を見て育てという会社もたくさんあります。
私自身、いくつかの会社に勤めさせて頂きましたが、先輩から懇切丁寧に教えていただけることはなく、知識＋実務に非常に困りました。
現在は調べものをしたければ、インターネットで簡単に検索できる時代ではありますが、不動産業界は教科書と実務が結構離れている事が多く、難しいと思っておりました。
ロータリークラブでの卓話ですので現在の不動産にまつわる社会課題についても少し触れさせて頂きたいと思います。
最近話題の民泊問題について少し話しできればと思います。
全国で民泊という制度が出来てから、民泊施設の 94%程度が大阪に出来ております。
西成の方でNPO法人にも加入させていただいているのですが、そちらのNPO法人では西成のまちづくりや地域住民様への講習や町の調査等を実施しております。
現在、西成という地域ではめまぐるしく状況が変わっているのでそちらの状況を皆様に共有させていただければと思います。
現在民泊の新規受付が来年の 5 月で締め切るという形になっておりますが、西成という地域では過去から現在にかけてたくさんの民泊が出来ました。
また、西成の地域ではたくさんのタイプの民泊が出来ております。
また山王という地域で調査させていただいた結果、山王町という町だけでの民泊件数は 118 件ほど有り、約 9 割が中国系の民泊となっております。
あくまで今回の調査は西成の山王地域での調査とはなっておりますが、他の地域でも同じような動きになっているかもしれません。
良いか悪いかは私の方では判断できないのですが、民泊という制度が出来てから局所的に不動産の価格は跳ね上がって、日本人が購入したくても出来ない形になっておりましたので民泊の新規受付停止が歯止めになってくれればいいなとは思っております。
以上、卓話の時間ありがとうございました。

7. <u>イニシエーションスピーチ</u>　常谷　麻子　会員

常谷麻子（つねや・あさこ）と申します。北海道出身です。
生まれ育ったのは、厚岸（あっけし）というとても小さな町です。北海道のひし形の右側、釧路と根室の中間あたりにあります。カキが有名で、意外と名前は知られているのですが、人口は一万人に満たない町です。
高校卒業後、大阪大学に進学しました。こんなに大きな町に出てきたのは初めてで、当時は人の多さに本当に驚きました。祭りかと思いました。
大阪のことはすぐに大好きになりました。受験の帰り、阪急梅田駅で、伊丹空港へはどうやって行けばいいのか、母と二人でマゴマゴしていたとき、通りがかりの大阪の紳士が、「なんや、空港ならバスに乗りや」と声をかけてくれました。すると、そこに素敵なマダムが現れて、「タクシーですぐだわよ」と別案を提案、さらに別のねえさんが阪急とモノレールを乗り継ぐ方法を教えてくれました。北海道にはJRしかありません。母と私は、阪急だのモノレール、正直何が何やら分からず、完全に混乱してしまい、結局バスに乗りました。でも、そのことがとても嬉しかったのです。母も、「大阪ならこの子を送り出しても大丈夫だ」と思ったようです。
大阪大学では法律相談部に入りました。先輩方が法律を使って相談者の話を聞き、丁寧に答える姿はとても格好よく、ただ最後には必ず、「弁護士さんに相談することをお勧めします」と締めくくられます。弁護士になって責任をもって最後までやり遂げる必要があると想いを強くしました。その後、大阪市立大学、現在の公立大学のロースクールに進学し、司法試験に合格しました。
最初の就職先は札幌を選びました。地元に戻ろうかな、と淡く考えていたからです。数年札幌で過ごすうちに、日に日に大阪が恋しくなりました。ちょうどその頃、和歌山市役所がインハウス弁護士を募集しており、これに飛びつき、関西に戻ることができました。みかんが大好きな私には和歌山市役所は最高でした。とても大変丁重に扱っていただきました。ただ、意外と大阪からは遠かったです。任期満了後は近畿財務局でインハウス弁護士として勤務しました。その後、通常の弁護士業務に戻りたいと思い、友人の事務所に合流し、現在に至っています。
弁護士に復帰して数年が経ちましたが、インハウス時代よりも、他の専門家の力を借りる必要性や、知識を能動的にアップデートする必要性を、より強く感じています。
ロータリーに誘ってくださった岡野会計士とも、勉強会で知り合いました。事業承継に関する勉強会です。あれよあれよという間に話が進み、入会後にスピーチがあるなどとは全く知らないまま入会してしまいました。スピーチがあるなら入会していなかった、そのくらい苦手です。話す内容が本当に何も思い浮かばないからです。これは昔からでして、手前味噌ですが、学校の成績は抜群でした。ただ、作文だけはどうにも苦手で、四百字詰原稿用紙の半分も埋まらない。法律文書は型が決まっていますのでスラスラ書けるのですが、自由に書けと言われると、てんで駄目です。最初に三十分と聞いて本当に逃げ出したくなりましたが、岡野先生を恨みつつ（笑）、十分という寛大な時間をいただき、話す内容についても岡本前会長やメンターの大島さんに手厚くご指導いただきました。無事話を終えられそうです。とてもホスピタリティあふれる組織だと感じています。
ロータリークラブは職業を通じた社会貢献が求められていると聞きました。弁護士としての業務を通じて、皆様とともに貢献活動をしてまいりたいと考えております。よろしくお願いします。

☆☆☆　大阪市立開平小学校5年生キャリア教育体験学習について　☆☆☆
令和7年12月11日（木）

青少年奉仕委員長　大久保　喜弘

12月11日（木）に実施いたしました開平小学校によるキャリア教育体験学習の様子を報告いたします。
今回ご協力いただきました9名の会員の皆様に心より感謝いたします。
児童たちの貴重な経験の場をご提供いただきまして有難うございました。

【㈱テイクコーポレーション】竹内　弘 会員

今回、5年生10名と岩本校長先生に来ていただき、アクリルのビッグキーホルダーをデザインから作る体験をしてもらいました。自分のデザインしたものが、プリントされ.できていく様子をキラキラした目で見てくれて、こちらもほっこりしました。社員にとっても、子ども達に自分たちの仕事を伝える難しさなど、勉強になり有意義な時間となりました。ちなみに今回は2名、当社に就職希望ですww

貴重な機会をいただき、大変感謝です。大久保さんお手配、段取りありがとうございました。

【㈱コジマ】小島 常男 会員

まず事務所で子供たちにメガネの役割やレンズの種類などについて講義をしました。子供たちも一生懸命メモを取りながら話を聞いており、サンプルでレンズやフレームを見せ、実際に手に取ってその違いを体感してもらいました。

今回例年よりも短めの時間ではありましたが、逆に集中が途切れなかったのか、終始しっかりと興味を示しながら学習している様子でした。その後、お菓子とジュースで小休止を取り、実際に売場の方へ行き、有名ブランドからべっこうメガネまで様々な商品に興味津々の様子でした。最後は好きなサングラス、メガネを一人一本ずつ選んでもらい、それを掛けて記念撮影を行いました。こちらからの問いかけへの反応も良く笑顔いっぱいの子供たちでした。

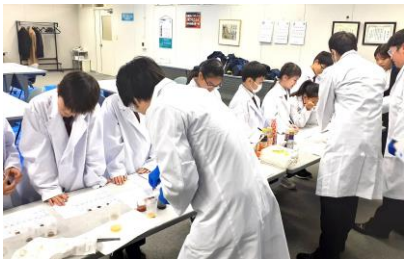
【エース㈱】新川 晃生 会員

当日は8名の5年生にお越し頂きました。スーツケースなどの製造工程をビデオで見て頂いた後には、実際の商品でキャスターストッパー機能を体験してもらいました。初めて見て驚いている方も多かったです。説明した内容に対して積極的に色々と質問もしてくれましたが、中にはこちらが驚くほど詳しい方もいらっしゃいました。最後のショールーム見学では、思い思いに様々なカバンを実際に触れて頂きました。少しでも「カバン」に興味をもって頂けていればと思います。

【東ビルエンタープライズ㈱】藤井 宏明 会員

開平小学校の5年生が、青少年奉仕活動の一環として職場体験学習に来館されました。まずホテルの業務について座学で説明し、その後レストランの調理現場や客室でのベッドメイクなど、実際の仕事を見学していただきました。子どもたちは普段見られない裏側に大きな関心を寄せ、積極的に質問をしてくれました。今回の体験は、ホテルの仕事を伝える側のスタッフにとっても、自身の役割を見つめ直す良い機会となりました。この学びが、子どもたちの将来の職業観形成の一助となれば幸いです。

【共栄社化学㈱】片岡 清夫 会員



開平小学校から児童の皆さんをお迎えし、弊社研究員と一緒に2つの化学実験を楽しみました。1 つ目は 10 円玉の洗浄実験です。成分表を見ながら「どれが一番きれいになるか」を予想し、酢、レモン果汁、ソース、しょうゆ、洗剤などに 10 円玉を浸して比べました。酸を含む液体がサビを溶かすしくみを、変化を見ながら理解していただきました。2つ目はカラフルタワーです。みりん、紅茶、はちみつ、サラダ油など重さの違う液体をゆっくり重ねると、重いものは下、軽いものは上に分かれて層ができます。児童の皆さんからも「きれい！」と歓声が上がりました。今回の体験を通して、化学が生活の中にある身近でおもしろいものだと感じていただけたのではないかと思います。

【㈱丸十コーポレーション】林　拓 会員

① はっ水と防水の違いでは、百聞は一見に如かずで実際のレインコートに水を垂らし、水玉が転がる様子や圧力によって水が貫通するかしないかを児童の皆さんに見ていただきました。実際の生地の感触なども触り比べていただくなど、理科の授業でいうところの実験に近い形で進めた時の児童の皆さんの反応がとても良かったです。

② 日本国内において1年間で流通する傘の本数は、日本の総人口に匹敵する約1億2千万本前後であり、世界でも1番であることをお伝えした際には皆さんとても驚いていました。
また、傘の期限は「日傘」であることなど傘に歴史にも触れ、皆さん鉛筆をたくさん走らせてくれていました。

③ 最後に弊社が実際にお取引している傘工場の社員さんに協力していただき、傘の生産現場をwebミーティングツールを使い、オンライン工場見学をしていただきました。日頃何気なく使っている傘、実際の製造現場では一つ一つの工程がほぼ手作業であり、検品の回数も非常に多く、皆さんが使っている傘はとても多くの人が関わって作られた、いわば手作り品であることを知っていただきました。また、児童さんの中には中国ご出身の方もいらっしゃり、現地の社員さんと中国語で質疑応答をしている姿も印象的でした。

【㈱FUN TOMORROW】廣 勇貴 会員

開平小学校のキャリア体験学習の一環として、小学生9名を弊社にお迎えしました。当日は、冒頭に会社紹介を行い、社名の意味やロゴマークに込めた想い、そしてマーケティングやデザインの仕事が社会の中でどのような役割を果たしているのかについてお話ししました。その後のメインプログラムとして、ショート動画の撮影体験を実施しました。「自分の好きなことを、まだ知らない友達に伝える」をコンセプトに、一人約10秒で名前と好きなことを話し、好きなことが伝わるポーズを取ってもらい、全員で一本の動画を完成させる企画です。限られた時間内で完成させる必要があったため、事前にフォーマットを用意し、撮影から編集までを即興で行いました。撮影後は、実際の動画編集の様子を見学してもらい、さらにプロ用カメラを使った写真撮影体験も行いました。動画撮影は最初こそ恥ずかしがる様子も見られましたが、次第に真剣な表情で取り組み、初めて触るプロ用カメラでの写真撮影では、終始楽しそうな様子が印象的でした。
最後に、全員で完成した動画を鑑賞し、プログラムを終了しました。
弊社の制作事例を見て、「かっこいい」「おいしそう」「すごい」といった率直な言葉を口にしてくれたことは、私自身だけでなく、スタッフにとっても大きな喜びとなりました。また、体験の終わりには「自分からお礼を言いたい」と申し出てくれた児童が、「本当に楽しかったです」と笑顔で伝えてくれ、その姿に私もスタッフも深く感動しました。
今回の体験に向けては、「小学生が本気で楽しいと思える内容にしよう」と、連日にわたり、夜遅くまで準備を進めてくれたスタッフの存在がありました。当日の子どもたちの反応を受け、スタッフ自身も大きな達成感を感じており、「来年はどんな企画にしようか」といった前向きな声も聞かれました。またスタッフからは、「社長がロータリークラブに入ってから、こうした新しい取り組みや刺激を多く経験できてありがたい」という言葉もあり、私自身、改めて良いスタッフに恵まれていることを実感する機会となりました。
最後に、このような貴重な学びと交流の場をいただけたことに、心より感謝申し上げます。

【栄和産業㈱】 清水 清一 会員

今年もまた5年生6名が職場訪問で来てくれました。
将来何になりたいか等しっかり答えてくれる姿は頼もしかったです。
工場の説明にもスライドとミニ模型を手で動かしながら、興味深く聞いていました。
農場の写真を見て、野菜の名前をみんなで当てながら、家では焼いて塩、こしょうで食べると美味しいとか、お鍋で食べるとか、家庭で野菜をしっかり摂りいれられた食卓を垣間見ることもできました。6名みんなが思い、思いの意見を明るく元気にキャッチボールしながら話す姿はすごく嬉しかったです。楽しい時間を一緒に共有できました。
引率の先生、5年生のみんな、ありがとうございました。
今の素直で真直ぐな気持ちをこれからも明るく、元気に、続けて行って下さい。

【㈱イコール】 岡本 真太郎 会員

心斎橋にあるCOCOTORE(ココトレ)に8名の児童にお越しいただきました。
まず初めに、「カウンセリング」とは何なのかをスライドを使用しながら解説しました。
「困った時」「悩んだ時」誰に相談するか？と
いう質問に、両親とか友達と答えてくれた児童に安心した反面、「ストレス」や「鬱」「病み」という単語を平気で使う子供たちに時代の変化を感じました。相談する以外にどんな方法があるだろう？という質問には、「捉え方を変える」とか「少し悩みから離れてみる」といった回答をしてくれる児童もいてました。最後は児童ひとりひとりの脳波を測定し、その測定結果と説明を食い入る様に聞いてくれていました。児童たちのこれからの長い人生に「悩みの解決法」「カウンセリング」といったものが、選択肢のひとつとして少しでも記憶に残れば嬉しく思います。
今回は3人のカウンセラーが対応させてもらいましたが、その内の2人が教員資格を持っているのもあり、学校の授業では出来なかった関わり方を出来たことに、とても良い経験が出来たと感想を述べております。この度は自分たちの役割を再確認できる機会となりました。よい機会をいただきありがとうございました。

☆1月例会予定☆

日		司会	プログラム	例会場	その他
13 (火)	・職業奉仕月間 ・1/24R財団 補助金管理セミナー	林拓	新年例会懇親会 新年放談 **於:セントレジス**	右に同じ	お誕生日お祝い 理事会11階「エンパイアボード」16:30～ 例会 11階「アスターボール」 17:30～ 懇親会11階「アスターボール」 18:00～
19		洪	卓話:山川会員	4階孔雀の間	
26	・1/30 第3回 会長幹事会	洪	フォーラム:職業奉仕	7階フォンタナ	フォーラム 13:00～14:00

皆さま良い年をお迎えくださいませ

お知らせ
事務局の年末年始のお休みは、
12月29日(月)～1月4日(日)です。